

# おお大勝利

平成 26 年度山東サッカー部報第 1 号 (4 月 10 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

25 年度部報最終号で、顧問今野の残留確率は 75% (異動確率は 25%)、異動したら部報はなし、と伝えておりました。26 年度も部報が作成されたということは・・・晴れて残留致しました。**今年も、今野・志村の顧問体制に、齋藤 GK コーチ、名和トレーナー (せりかわ整骨院) の 4 名体制で臨みます。保護者の皆様、OB・OG の皆様、今年もよろしくお願ひします。**

## 充実の遠征を終えて

今年も 3 月末に恒例の関東遠征を行いました。今年は冬場に予定されていた県外遠征が (宮城・福島の) 降雪やら学校サイドの事情やらでことごとくキャンセルになり、やっと実現できた県外遠征となる<sup>1</sup>。年度末を迎えた山形東サッカー部、2 年生 (新 3 年生) 部員が 12 名、1 年生 (新 2 年生) 部員が 8 名の計 20 名しかいない<sup>2</sup>ため、これまで夏の遠征・正月の遠征にて、OB がコーチ役や審判役ではなく、選手として活躍。ただし、春の遠征には、やる気のある新入生を連れていくことができる (もちろん、保護者の承諾・保険の加入等、万全な準備で)。**サンペーことリョウヘイ、ゴークルことソウヘイ、ユウティことユウトの 3 名**の協力を得て、何とか A・B の 2 チームを結成。名和トレーナーに帯同してもらい、故障者が出ても万全の体制で臨む。

まず、一日目 3 月 27 日に埼玉県立大宮東高校さんにお世話になる。体育科をもつサッカーの名門校で、私今野も高校時代に選抜チームで訪れ、ボコボコにされ衝撃を受けた記憶がある<sup>3</sup>。ちょうど名和トレーナーと同期のトレーナーが在籍しており、その関係を頼り 2 年前からお世話になっている<sup>4</sup>。もちろん埼玉の強豪校はトップの A チームではありませんが、山形の田舎のチームからしたら、かなり洗練されたサッカーをしてくる。いつも通り中途半端なクリア、簡単なボールロスト、粘りのないディフェンスの対応の連続のうちに、あえなく失点する立ち上がり。「降雪によるブランクがあり試合勘が鈍っている」などのかっこつけた言い訳では表現しきれない稚拙さ。**思えば、自分の現役時代を振り返っても、顧問として指導してきた経験から言っても、3 月末の時点である程度の力の高まり (チーム力に対する自信 / チームの方向性に対する自信) がないと、5 月 6 月の活躍は期待できない。**非常にマズイ状態。ただその後は、少し盛り返し、攻撃の形を作ることができて、「良い経験を積ませてもらった」という肯定的なまとめができる一日となる。埼玉で大宮東さんにお世話になった後は、千葉へ向かい、千葉で一泊。その宿泊先、西千葉の和光荘さんは、長崎のとある超有名なベテラン指導者も千葉での試合にては宿泊されるという、いわば高校スポーツ界の名門宿泊施設。初日から温かいおもて

<sup>1</sup> 3 月後半も大雨が降り、山形市内で組まれていた練習試合さえもキャンセルが続きました。

<sup>2</sup> マネージャーは各 1 名ずついますので、部員としては 22 名。

<sup>3</sup> 当時最強だった帝京高校や清水商業とも対戦経験があるのですが、それらのチームを凌駕して、もっとも衝撃を受けたチームが大宮東。攻撃時のスピードには、本当に驚かされました。ちなみに私は、べにばな国体 (いわゆる 6 7 国体) 時に高校 3 年生でして、青年の国体チームの一員としてかなり強化して頂きました。

<sup>4</sup> 昨年度の正月遠征では正月にもお世話になったので、大宮東さんを訪れるのはこれで 3 度目。サッカー場に隣接する野球場に大きく「闘志なき者は去れ」とパネルがかけられており、それがとてもとても印象的。

なしの心に癒される（その後4泊すべて和光荘さん）。

二日目 28日は、翌日から開かれる千葉のファミリーサッカー大会の運営を一手にお引受けの東邦大東邦高校の先生から紹介して頂き、船橋二和高校さんを訪れる。前期千葉の4部から3部に昇格したそうで、波に乗っている県立高校。**何とこの会場まで、新2年タツルの兄ヒロアキ（東京の歯学系大学に在学中）が差し入れを持って、同じ大学に在学中の友人千カラ君（千葉県出身）とともに表敬訪問してくれました**<sup>5</sup>。ヒロアキといえば、22年度選手権準決勝の羽黒戦でスコア2対2、そしてPK合戦で一回りする<sup>6</sup>超善戦を演じた時にCDFとして大車輪の活躍を見せた選手。事情があつて途中でサッカー部を退いたため正式なOBとはなっておりませんが、引退後、遠征に帯同してくれたり、**準OBとして面倒を見てくれている**。当然、挨拶後の言葉は「早く着替えて。戦力として考えてるから。」二人はB戦に出場してくれて、拙いBチームの試合に活を入れてくれました<sup>7</sup>。お二人、ありがとう！ また来年もよろしくね！！A戦は、船橋二和さんの「縦パスを入れ後方の選手がフォローしどんどん攻撃選手が増えていく攻撃」がとても素晴らしく、コテンパンにやられてしまいました。山東の得点もありましたが、結果以上に、相手の攻め方が勉強になったし、何よりフィニッシュの精度を見習わなければならないと感じました。とにかくGKの頭越しに、ループシュートとまではいえない速度（ということはループよりも速い速度）でコントロールされたシュートが繰り返され、GKがどうにもできない場面が複数回ありました。また、船橋二和さんのピッチはものすごく整備されたきれいなクレで、感動すら覚えました。確か名和さんが「ピッチに入るのもったいないみたいですね」と仰ってましたが、それもうなずけました。

三日目からは、正式なファミリー大会開催。何とこのファミリーサッカー大会、名前の変遷はありますが、今年で何と第32回！ 前顧問の晃先生<sup>8</sup>も山東の学生時代に参加されている（もちろん晃先生の後輩に当たる今野も）。初日は君津商業高校さんへお邪魔する。この日、山東のパフォーマンスは最悪。技術的に未熟なのはわかっているつもりでしたが、「ここまでか」と嘆きたくなるプレーが多い。とにかく、「ボールが足につかない」とはまさにこのこと。昨年発揮した粘りある戦いも、得点後すぐの失点という悪い形もあり、影をひそめる。この日のプレーで一番覚えているのが、「**持っている男**」ユウティのプレー？ ユウティ、遠征前の練習試合では、初出場5分でゴッツァンゴール2連発をかまし、「持っている男」の印象を鮮烈に刻んだが、この日もすごかった。何と、ユウティの前に転がったボール、相手二人が交錯し倒れ、ユウティの前の視野がいきなり開ける。あとはGKと1対1。結局その1対1を外したのですが、私主審として笛を吹いていてその光景（相手二人に確保された絶望的なボールがいきなりユウティの前に転がってくる光景）を間近で見て、「これはすごい」と本当に思いました。ユウティ、3年間持っていてくれよ<sup>9</sup>！ 特にAチームがあまりにもふがいなかったのが、ゲーム後、ピッチの端で「居残り練習」。まあ、といってもミニゲームをただけなのですが、ジュースがかかっていたからか、選手はやたら盛り上がり取り組んでいました。**山東選手諸君、君たちは試合以上に練習で盛り上がるのかね。そして、モノで釣られないと頑張らないのかね**。ミニゲームを熱く戦い頑張る姿を見て、指導者としては喜んでいいのやら悲しんでいいのやら、複雑な気持ちになりました。

<sup>5</sup> ヒロアキ君、学生なんだから、差し入れなど気にせずがいいんだよ！ 次は手ぶらでお越しください。

<sup>6</sup> 結局14人目くらいまで蹴ったと思います。もちろん、その時の山東は新人チームです。

<sup>7</sup> 特に、ヒロアキのPKのキッカーとしての活躍、そしてその後、失敗を挽回しようと体に鞭打って食欲にゴールを目指す姿がとても印象的でした。

<sup>8</sup> もちろん今年卒業したミサキマネ、新2年カツミのお父様。

<sup>9</sup> ちなみに、新入生のあだ名ですが、ワタシ的に、サンペーは確定ですが、あとの二人はこれから変化するものと思います。特にユウティは、ヨウティ（新3年ヨウタ）みたいで何か気の毒。

四日目 30日は市立千葉高校にお世話になる。市立千葉さんには昨年のファミリー大会最終日に対戦させてもらい、鹿島で得た山東ディフェンスの手応えを粉々に砕かれ、うまさ・速さ・高さが合わさった好チームだったとの記憶がある。途中から雨足が激しくなり、ピッチコンディションは時を追うごとに厳しくなりましたが、今年も堪えながらカウンターの機会を待つ良いトレーニングを積ませてもらいました。この日では、同会場で対戦させてもらった袖ヶ浦高校とのB戦で、**ジュンヤ**が豪快右足シュートで得点したシーンが一番印象的。バウンドボールをハーフバウンドで、すなわちボールがグラウンドに落ち跳ね返った瞬間に、右足のアウト回転をかけてゴール左サイドネットに突き刺すシュート。私、ジュンヤに浮き球がこぼれた瞬間に、「アウトで振り抜けばうまく行くんだけどな（そんなにうまくやってくれないだろうな）」と甘く考えていたら、何とその私のイメージを完璧な形で具現してくれ、うれしくなりました。試合後、ジュンヤに思わずかけた言葉は「ありがとう」。後で振り返って、適切な言葉のかけ方だったか、いささか疑問ではありますが、本心がこぼれてしまいました。**そのジュンヤ、このシュートだけでなく、何とこの関東遠征の得点王**となり、猛アピール致しました。

最終日 31日は茂原北陵高校さんにお世話になる。真新しい人工芝ピッチ。最終日気分よくサッカーをし、気分よく山形に帰れそうな予感。ゲームはAもBも丁寧なボール回しをするシーンがみられ、最終日のサッカーがどちらのチームも最も質が高かった。前線から連動した守備で相手の攻撃を寸断するディフェンスはまだまだできず、相手の攻撃を「受けて」しまう点、すなわち、《相手のボールをインターセプトする・奪う積極的な守備》が、個々でも、チーム全体でもまだまだできなかった点は課題として残りましたが、攻め急がず機をうかがうことは、特にA戦の後半、B戦は前後半できていたように感じました。

**訪問させてもらった各チーム、対戦させてもらった各チーム、そして事務局を務めて下さった東邦大東邦のS先生、和光荘、そして準OBのヒロアキ君、良い経験が積めたことを皆さんに感謝いたします。**

**最後になりますが、保護者会より激励金を頂戴いたしました。また、昨年度退部したアダキマネのご家族からご芳志を頂戴いたしました。ありがとうございました。**

早速、今週末より県リーグ戦（山東はU18山形県リーグ2部Bブロック、以降の部報ではY2Bと表記）が始まります。応援をお願いします。

**4月12日（土）Y2B第一節 山形中央B戦 12:00キックオフ @山形商業G**

♪連絡♪

先日、UターンならぬIターンで大江町で農業を営まれている**元保護者会長の山川さん**（コウスケの代＝コウタの代の四つ上）が山形新聞の特集で先進的農家として取り上げられていましたので、連絡すると、山川さんから以下のような返信を頂きました。選手諸君、幅広い知識と経験を身につけよう！

昨年、左沢高校で職業講話をさせていただいたときもお話したのですが、これからの農業は、生産はもとより、加工や飲食、観光、食育などの教育、後継者などの人材育成、環境関連事業、農産物の品種改良、販売を中心にしたマーケティングや営業、他産業との連携や経営において必要なマネージメント、そして大きなところでは国の農業政策、行政による農業関連事業、などなど様々な分野との関わりを持つこととなります。

文系・理系を問わず幅広い知識や経験があればそのキャリアはどこまでも広がっていきます。とまあ夢のある分野です。